

公益財団法人国際協和奨学会

平成30年度

私費外国人留学生奨学生募集要項

公益財団法人国際協和奨学会（以下、「当奨学会」という）は、わが国の大学、大学院、もしくは専修学校（以下、「大学等」という）に在学する私費外国人留学生を対象として、平成30年度（第33回生）の奨学金受給者（以下「奨学生」という）を下記により募集する。

記

1. 応募資格

奨学生として応募が可能な者は、日本国籍を有しない私費外国人留学生でかつ奨学金の受給期間において下記の資格等に該当する者とする。

(1) 大学等に在学し、かつ次の条件を満たす者

- ① 大学 2年生以上
- ② 医歯系大学 4年生以上
- ③ 大学院 1年生以上
- ④ 専修学校 1年生以上

(2) 対象専攻分野 制限なし

(3) 対象出身国・年齢 制限なし

(4) 学業・人物ともに優秀で、かつ経済的援助を必要とする者

(5) 日本国内のみならず、外国の政府並びに諸団体からの奨学金を受けていない者

(6) 国際的感覚及び親善に関心を持ち国際交流に貢献を期する者

(7) 既婚又は扶養家族のいる学生は、その家族の生活費を賄うのに十分な資金の証明が出来る者

2. 奨学生の採用人員

若干名

3. 奨学金

- (1) 奨学金は、奨学生本人に月額 120,000 円を、原則、毎月第 1 木曜日に当奨学会事務局にて支給する。
- (2) 奨学金は、返還を要しない。

4. 奨学金の支給期間

奨学金の支給期間は平成 30 年 4 月から平成 32 年 3 月までの 2 年以内とする。

5. 応募の手続

- (1) 奨学生に応募する者は、様式 1 の申請書に次の書類を添えて、大学等の指定する日までに在学する大学等宛に提出しなければならない。
 - ① 学業成績証明書
 - ② 指導教官等の推薦状 (様式 2)
 - ③ 在留カード (両面) コピー
 - ④ パスポートコピー
 - ⑤ 在学証明書 (別紙 1 ご参照)
 - ⑥ 健康診断書 (3 ヶ月以内)
 - ⑦ 白黒写真 (上半身 5×4cm・3 ヶ月以内) を 2 枚 (1 枚は申請書に貼付し、1 枚は裏面に撮影年月日と氏名・国籍を記入して申請書に、別途同封すること)
 - ⑧ 平成 30 年度応募論文 (別紙 2 課題より選択: 手書き)
 - ⑨ 学業・研究計画書 (大学等で学ぶ専門課程について、800 字以内、用紙適宜)
- (2) (1) の申請があったときは、当該大学等が適当と認めた者に対して当該大学等は (様式 3) による推薦書を付し、当奨学会に提出する。
- (3) 大学等からの被推薦者は各年度につき 1 名とする。

6. 応募の締切日

平成 29 年 12 月 8 日 (金) 必着

7. 選考および決定

当奨学会は、上記 5 (応募の手続) により大学等から推薦があった者について選考委員会に諮り、第 1 次選考 (論文を含む) の合格者には面接試験を順次行い奨学生を決定する。(面接試験は 2 月上旬を予定しておりますが、別途

ご連絡いたします。) 採否の結果については、平成30年3月中旬までに在学する大学等の推薦者に郵送により通知する。

8. 奨学金の休止・停止又は期間の短縮

下記に該当することとなった場合には、奨学金の支給を休止・停止又は支給期間の短縮をすることがある。

- (1) 奨学生が休学し又は長期にわたって欠席したときは、奨学金の支給を停止することがある。
- (2) 学業又は日常生活等の状況により、奨学生としての適性を欠くと認められたときは、奨学金の支給を停止又は支給期間を短縮することがある。

9. 奨学金の復活

上記8(奨学金の休止・停止及び期間の短縮)の事由が解消されたものと当奨学会が認めた場合には、奨学金の支給を復活することができる。この場合の支給期間は、上記8の期間を含め通算で2年間までとする。

10. 奨学金の打ち切り

奨学生が、次の(1)から(8)までのいずれかに該当するものと当奨学会が認定した場合は、奨学金の支給を打ち切ることがある。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 傷病のため成業の見込みがないとき
- (3) 学業成績又は性行が不良となったとき
- (4) 在籍する大学等で処分を受けたとき
- (5) 奨学金を必要としなくなったとき
- (6) 上記1(応募資格)を失ったものと判断されたとき
- (7) 当奨学会の奨学生同士が結婚した場合の一方
- (8) その他当奨学会の奨学生として適当でない事実があったとき

11. 転退学

奨学生が退学または他の大学等へ転学したときは、特別の事情があると当奨学会が認めた場合を除き、奨学金の支給を辞退したものとみなす。

12. 返納

上記3(奨学金)に定める規程にかかわらず奨学金の支給後において、上

記 8 (奨学金の休止・停止又は期間の短縮)、上記 10 (奨学金の打ち切り) 又は上記 11 (転退学) の事由が生じた場合には、既に支給した奨学金について、その全部又は一部を返還させることがある。

1 3. 応募に際しての留意事項

下記の留意事項を厳守すること。

- (1) 他の奨学財団等から奨学金を受けている者は、詳細を記入すること。
なお、当奨学会の奨学金受給期間における重複受給は認めない。
- (2) 住所等の変更並びに休退学又は 1 か月以上にわたる傷病等が生じた場合には、速やかに当奨学会に通知しなければならない。
- (3) 提出された書類等は、原則として返却しない。
- (4) 応募論文は未発表のものとし、他への投稿を禁止する。

1 4. 奨学生として決定した場合の留意事項

- (1) 奨学生は、当奨学会の定める行事等に出席しなければならない。
- (2) 当奨学会から学業・研究等について照会等があったときは、当該報告書を提出しなければならない。
- (3) 年 1 回、課題論文を提出しなければならない。

1 5. その他

上記の要項にかかわらず、医科・歯科系大学については、実態に応じて募集の締切・選考及び決定期日を別に定める場合がある。

1 6. 送付先又はお問い合わせ先

- ・送付先：公益財団法人国際協和奨学会事務局
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-7-201
- ・お問い合わせ：高木 (不在の場合は 田中)
月曜日から金曜日 (祝祭日を除く) の 10:00~15:30
電話:03-3580-2469 Fax:03-3580-6078

以上

(例)

別紙 1

在 学 証 明 書

氏 名

生年月日

上記の者は本学〇〇〇〇（学部等）第〇学年に在学
していることを証明する。

平成 年 月 日

〇〇〇〇大学／専修学校

学長／校長 〇〇〇〇

平成30年度 応募論文課題

- 1 わたしが難民になったら
- 2 寛容の心
- 3 祖父母・父母からの教え

上記の課題より一つ選択し、原稿用紙（400字）を用い、5枚以上6枚以内（必ず自筆すること）にまとめ、提出すること。